



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月31日  
上場取引所 東

上場会社名 SMN株式会社  
コード番号 6185 URL <https://www.so-netmedia.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井宮 大輔  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 鈴木 勝也 TEL 03(5435)7930  
四半期報告書提出予定日 2023年8月2日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,330	△25.9	△203	—	△199	—	△154	—
2023年3月期第1四半期	3,146	0.6	△49	—	△62	—	△80	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △160百万円 (-%) 2023年3月期第1四半期 △85百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△10.65	—
2023年3月期第1四半期	△6.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	7,495	4,567	60.4	312.26
2023年3月期	8,137	4,727	57.7	323.55

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 4,530百万円 2023年3月期 4,693百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,500	6.0	100	479.5	85	—	45	—	3.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	14,673,727株	2023年3月期	14,673,727株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	166,656株	2023年3月期	166,656株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	14,507,071株	2023年3月期1Q	13,382,190株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(収益認識関係)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業を展開しているインターネット広告市場は、引き続き拡大を続けております。「2022年日本の広告費」(株式会社電通調べ)によると、2022年のインターネット広告費は前年から14.3%増加して3兆912億円となり、2兆円を突破した2019年からわずか3年間で約1兆円の伸長を遂げております。

このような経営環境のもと、当社グループは、「発想力と技術力で社会にダイナミズムをもたらすユニークな事業開発会社になる」という経営理念のもと、2024年3月期は経営方針として、既存事業改善によるキャッシュ創出力強化に向けた「新アルゴリズム導入による効果改善」「ASP市場におけるポジションチェンジの推進」「ASA海外拠点展開による売上拡大」、新たに柱となる事業の育成による再成長のための「独自DSP立ち上げ支援サービス強化」「AIを活用したDTC(注1)支援ソリューションの立ち上げ」を掲げております。売上高においては、アドテクノロジー、マーケティングソリューションの減収により、第1四半期連結累計期間は減収となりました。また、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純損失は組織再編によるコスト削減を実施するも、減収等の影響により減益となりました。

以上の結果、当四半期連結累計期間における当社の売上高は2,330,203千円(前年同四半期比25.9%減)、営業損失は203,972千円(前年同四半期は営業損失49,041千円)、経常損失は199,207千円(前年同期は経常損失62,178千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は154,486千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失80,234千円)となりました。

当社グループはマーケティングテクノロジー事業の単一セグメントであります。取扱サービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

#### 1. アドテクノロジー

広告主の広告配信効果を最適化するための広告買付プラットフォームであるDSP(注2)「Logicad」の提供を行っております。当第1四半期連結累計期間は、前期に比べ大型案件が減少した影響等により、アドテクノロジーの売上は前年同四半期比20.6%減の1,384,756千円となりました。

#### 2. マーケティングソリューション

広告主と媒体を限定したクローズド型アフィリエイト「SCAN(スキャン)」の提供を行っております。当第1四半期連結累計期間は、前期に実施したメディアデータを軸としたソリューション事業の売却等に伴い、マーケティングソリューションの売上は前年同四半期比46.4%減の504,618千円となりました。

#### 3. デジタルソリューション

連結子会社のルビー・グループ株式会社では、ラグジュアリーブランド向けEコマースの構築・運営・コンサルティングを提供しております。株式会社ASAではWebサイト、モバイル(Webアプリケーションなど)をはじめとするデジタルコンテンツの制作および開発を行っています。連結子会社の株式会社ゼータ・ブリッジでは全国各地のテレビCMデータの販売などのプロモーション関連領域でサービスを提供しております。当第1四半期連結累計期間は、子会社のルビー・グループ株式会社の大型開発案件が前期で完了した影響等により、デジタルソリューションの売上は前年同四半期比4.6%減の431,013千円となりました。

#### 4. その他

テレビ番組表ポータル「テレビ王国」の広告枠の企画及び販売事業を行っております。当第1四半期連結累計期間は、「テレビ王国」の広告売上の増収の影響等により、その他の売上は前年同四半期比11.2%増の9,815千円となりました。

(注) 1 : Direct To Consumerの略。

2 : Demand Side Platformの略で、広告主の広告配信効果を最適化するための広告買付プラットフォーム。媒体側の広告収益の最大化を支援するプラットフォームであるSSP(注3)と対になる仕組みであり、両者はRTB(注4)を通して、広告枠の売買をリアルタイムに行っている。

3 : Supply Side Platformの略。

4 : Real Time Biddingの略で、媒体を閲覧したユーザーの1インプレッション毎にインターネット広告枠の売買がリアルタイムにオークション形式で行われる仕組み。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、4,086,695千円となり、前連結会計年度末に比べ609,689千円減少いたしました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が636,766千円減少したことによるものであります。固定資産は3,408,497千円となり、前連結会計年度末に比べ32,384千円減少いたしました。これは主に、ソフトウェア等の無形固定資産が69,992千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は7,495,193千円となり、前連結会計年度末に比べ642,074千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,522,239千円となり、前連結会計年度末に比べ422,502千円減少いたしました。これは主に、買掛金が320,389千円減少、未払法人税等が56,732千円減少したことによるものであります。固定負債は1,405,561千円となり、前連結会計年度末に比べ59,494千円減少いたしました。

この結果、負債合計は2,927,800千円となり、前連結会計年度末に比べ481,997千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,567,392千円となり、前連結会計年度末に比べ160,077千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失を154,486千円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は60.4%（前連結会計年度末は57.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年4月28日付「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表した通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,597,647	2,602,578
受取手形、売掛金及び契約資産	1,896,134	1,259,367
その他	206,640	227,895
貸倒引当金	△4,036	△3,145
流動資産合計	4,696,385	4,086,695
固定資産		
有形固定資産	319,807	314,585
無形固定資産		
ソフトウェア	1,344,915	1,333,869
ソフトウェア仮勘定	122,129	120,753
のれん	805,164	763,579
顧客関連資産	509,600	493,675
その他	1,372	1,311
無形固定資産合計	2,783,181	2,713,188
投資その他の資産		
敷金	194,259	194,286
繰延税金資産	52,415	99,572
その他	109,922	105,571
貸倒引当金	△18,705	△18,706
投資その他の資産合計	337,892	380,722
固定資産合計	3,440,882	3,408,497
資産合計	8,137,267	7,495,193
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,234,848	914,459
1年内返済予定の長期借入金	226,704	226,704
未払法人税等	64,435	7,702
未払消費税等	87,809	72,060
その他	330,944	301,312
流動負債合計	1,944,742	1,522,239
固定負債		
長期借入金	1,250,334	1,193,658
資産除去債務	72,089	72,200
繰延税金負債	140,654	138,141
その他	1,977	1,561
固定負債合計	1,465,055	1,405,561
負債合計	3,409,797	2,927,800
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,260,564	1,260,564
資本剰余金	2,264,710	2,264,710
利益剰余金	1,293,391	1,138,905
自己株式	△116,040	△116,040
株主資本合計	4,702,627	4,548,140
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,016	1,375
為替換算調整勘定	△10,902	△19,503
その他の包括利益累計額合計	△8,886	△18,128
非支配株主持分	33,729	37,380
純資産合計	4,727,470	4,567,392
負債純資産合計	8,137,267	7,495,193

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	3,146,129	2,330,203
売上原価	2,462,443	1,905,073
売上総利益	683,686	425,130
販売費及び一般管理費	732,727	629,103
営業損失(△)	△49,041	△203,972
営業外収益		
受取利息	42	22
受取配当金	8	6
受取家賃	730	533
投資有価証券売却益	4	—
為替差益	4,270	9,097
雑収入	514	475
その他	3	4
営業外収益合計	5,574	10,139
営業外費用		
支払利息	2,789	2,381
投資有価証券評価損	154	—
固定資産除却損	649	—
支払手数料	311	615
売上割引	1,849	1,924
雑損失	179	453
株式報酬費用消滅損	12,777	—
営業外費用合計	18,711	5,374
経常損失(△)	△62,178	△199,207
特別利益		
事業譲渡益	5,593	—
特別利益合計	5,593	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△56,584	△199,207
法人税、住民税及び事業税	11,352	2,559
法人税等調整額	8,868	△49,323
法人税等合計	20,221	△46,763
四半期純損失(△)	△76,805	△152,443
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,428	2,042
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△80,234	△154,486

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△76,805	△152,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△168	△640
為替換算調整勘定	△8,235	△6,992
その他の包括利益合計	△8,403	△7,633
四半期包括利益	△85,209	△160,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△87,380	△163,728
非支配株主に係る四半期包括利益	2,170	3,650



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結子会社の吸収合併)

当社は、2023年6月22日開催の取締役会において、下記の通り当社の連結子会社であるネクスジェンデジタル株式会社、SMNメディアデザイン株式会社及び株式会社ゼータ・ブリッジを吸収合併することを決議いたしました。

1. 取引の概要

(1) 被結合企業の名称及びその事業の内容

被結合企業の名称	ネクスジェンデジタル株式会社
事業の内容	広告の企画及び制作並びに広告代理業務
被結合企業の名称	SMNメディアデザイン株式会社
事業の内容	インターネットにおける広告宣伝業務
被結合企業の名称	株式会社ゼータ・ブリッジ
事業の内容	コンピューターによる情報処理および情報提供事業

(2) 企業結合日

2023年9月1日(予定)

(3) 企業結合の法的形式

当社を存続会社、ネクスジェンデジタル株式会社、SMNメディアデザイン株式会社及び株式会社ゼータ・ブリッジを消滅会社とする吸収合併

(4) 結合後企業の名称

SMN株式会社

(5) 企業結合の目的

当社グループにおける経営の合理化・効率化を図るため、吸収合併を行うものであります。

2. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理する予定であります。

(収益認識関係)

当社グループの売上高は、主に顧客との契約から認識された収益であり、当社グループの報告セグメントを財又はサービスの種類別に分解した場合の内訳は、以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

(単位：千円)

	売上区分				合計
	アドテクノロジー	マーケティング ソリューション	デジタル ソリューション	その他	
一時点で移転される財	1,744,671	940,880	402,060	8,830	3,096,442
一定の期間にわたり移転される財	—	—	49,687	—	49,687
顧客との契約から生じる収益	1,744,671	940,880	451,747	8,830	3,146,129
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,744,671	940,880	451,747	8,830	3,146,129

当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

(単位：千円)

	売上区分				合計
	アドテクノロジー	マーケティング ソリューション	デジタル ソリューション	その他	
一時点で移転される財	1,384,756	504,618	431,013	9,815	2,330,203
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	1,384,756	504,618	431,013	9,815	2,330,203
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,384,756	504,618	431,013	9,815	2,330,203

(重要な後発事象)

該当事項はありません。